

積雪地帯に最適な新品種!!

耐雪性強い青刈ライ麦「はやみどり」

来歴

ベトクラーザ（普通種）は耐雪性が弱く、著しい冬枯れを生ずることがあるので、耐雪性の強い品種を目指して、青森県農業試験場において育成されました。

特性並に収量検定が重ねられ、1965年に青森県の優良奨励品種に決定され、次いで山形県、長野県等においても優良奨励品種に決定されています。

特性

ベトクラーザに比べて、初期から生育がまさり、葉幅が広く茎数が著しく多く、早めに刈れば再生も良好で2～3回刈りができ、青刈り、サイレージどちらにも利用できます。

特に紅色雪腐病に対する抵抗性が強く、早春の生育が旺盛で、草丈も高く生草収量が多収です。

適地および栽培上の注意

青刈用またはサイレージ用として、紅色雪腐病

の発生しやすい多雪地帯に特に適し、積雪地帯における安定多収品種です。

畑地、水田裏作のいずれにも栽培できますが、過湿地では発芽を阻害され、また収量も半減するので、乾田での栽培が望まれます。

水稲立毛中に播種するより、耕起整地後に散播または畦立て栽培すれば、根の張り分けつが良く多収となります。収量はチッソ質肥料により左右されますが、あまりチッソ分が多過ぎても倒伏しやすくなるので、基肥としてN・P・K各成分量で5～6kgでいどとし、早春にNを適宜追肥すべきです。

利用

青刈り、サイレージどちらにも利用でき、出穂前に刈れば再生も良好です。自給飼料増産の作付例をあげますと、表2のように、寒冷地においては、トウモロコシの極早生品種スノーデントA号またはバイオニアA号との組合せにより、多収が得られます。

(青森農試)

表1 青刈ライ麦品種比較試験

| 試験所 | 品種名 | 刈取期 | 草丈 | 莖当たり数 | a 当たり収量 | | 備考 |
|------|--------|-------|------|-------|---------|------|-------------------------|
| | | | | | 生草 | 対比 | |
| 黒石本場 | はやみどり | 5月23日 | 99cm | 599本 | 228kg | 142% | 水田裏作立毛散播区 試験年次：1959年 |
| | ベトクラーザ | 5 23 | 101 | 400 | 161 | 100 | |
| | はやみどり | | 107 | 153 | 325 | 120 | 畑普通栽培 試験年次：1961～63年 |
| | ベトクラーザ | | 110 | 114 | 270 | 100 | |
| 藤坂場 | はやみどり | 5 1 | 33 | 310 | 41 | 113 | 水田裏作 試験年次：1962年 |
| | ベトクラーザ | 5 1 | 35 | 234 | 36 | 100 | |

表2 府県寒冷地高冷地における自給飼料の栽培生産例

(10アール当たり)

| 作物(品種)名 | (月) | | | | | | | | 生収量 | 乾物収量 | TDN収量 |
|------------------|---------|---|---|---|---|---|----|----|--------------------------|--------------------------------|---------------|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | | | |
| ライ麦(はやみどり) | 5/下～6/上 | | | | | | | | 4ト } 10ト } 6ト } 10ト } | 0.7ト } 2.1ト } 1.4ト } 1.5ト } | 0.5ト } 1.5ト } |
| トウモロコシ(ハイオニアA号) | 6/中 | | | | | | | | | | |
| トウモロコシ(スノーデント2号) | 5/上 | | | | | | | | 7ト | 1.7ト | 1.2ト |
| 混播牧草 | 9/上～中 | | | | | | | | 7ト | 1.4ト | 0.9ト |

○……播種期 ×……収穫期